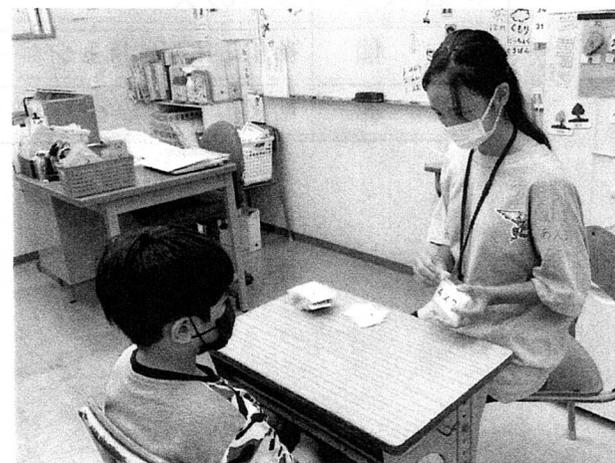
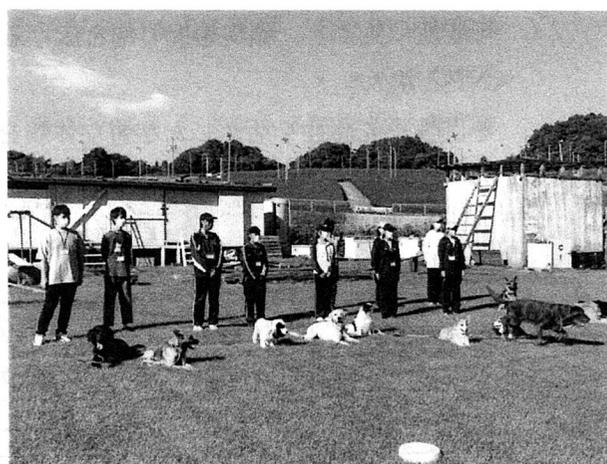


# 令和4年度 中高生 NPO 体験セミナー実施報告書

令和4年9月9日  
菊川市市民協働センター



## ■ 目次

I. 中高生 NPO 体験セミナーについて	P.2
II. 各体験セミナー紹介	P.3~10
III. 学校・セミナー別参加人数一覧	P.11
IV. 参加者アンケート結果	P.12~24
V. 実施団体アンケート結果	P.26~31
VI. 所感	P.31

## I. 中高生 NPO 体験セミナーについて

### 1) 実施目的

次世代を担う中高生に NPO 活動の体験の場を提供し、様々な社会貢献について知ってもらう。また、中高生が地域社会に参画する機会を創出することで、若者参加型の地域づくりの一助とする。

### 2) 期待される効果

<中高生>

NPO 活動を体験することによって、地域における課題を知ることができる。また、自己の新たな可能性に気づき、職業選択の幅を広げることができる。

<NPO 法人>

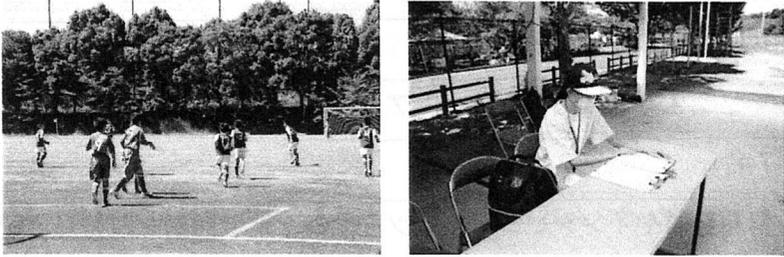
専門性や先駆性を活かした学習や体験を盛り込んだ内容を実施することで、次世代の人材育成の一助を担う。

### 3) 実施概要

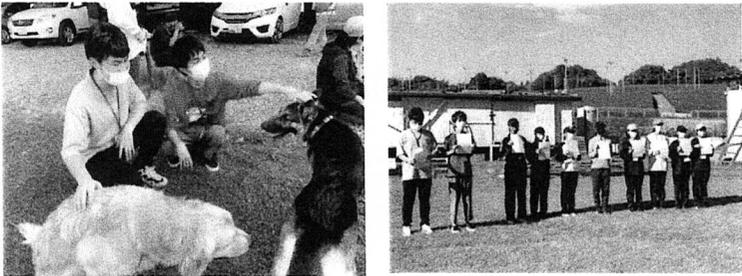
開催期間	7月23日(土)～8月26日(金) ※期間内で各 NPO 法人が実施日時を設定する。
セミナー数	13 セミナー
申込人数	延べ 89 人
主催	菊川市市民協働センター
共催	菊川市内 NPO 法人 13 団体

## II. 各体験セミナー紹介

### 1) KFC CUP (サッカー大会)

実施団体	NPO 法人 KFC
日時	①7月23日(土) 8:30~17:00
場所	炭焼きさわやか菊川グラウンド
参加者数	1名
体験内容	<p>静岡県内のチームを招待する CUP 戦で、記録やチーム誘導などの本部運営の補助を行なう。</p> 
参加者の声	・最初は緊張していたけど、とても優しく接していただき、楽しくできました。たくさんの人と話すことができた。
NPO の声	参加いただいた高校生が終日、保護者とのコミュニケーションを取っていただき、本部運営がスムーズに行えた。

### 2) 災害救助犬の訓練体験

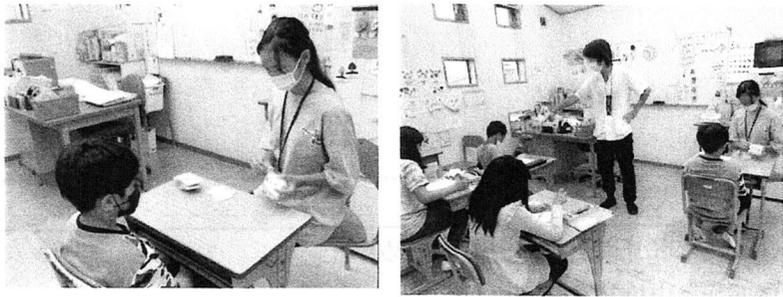
実施団体	認定 NPO 法人災害救助犬静岡
日時	① 7月23日(土) ② 7月30日(土) ③ 8月6日(土) 各日とも 15:00~17:00
場所	災害救助犬静岡訓練場
参加者数	26名
体験内容	<p>災害で行方不明になった人を探す災害救助犬の育成のために、要救助者役を体験。</p> 

参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に訓練の様子をみて感動した。救助犬の歴史などを知れた。</li> <li>・めったにできない貴重な体験をさせていただけて、今後も機会があれば参加したい。</li> </ul>
NPO の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暑い時期で、人も犬も大変な中でも、その中で出来ることを頑張れた。隠れ役を経験してもらい、実際被災した人の感情や、犬に発見してもらった時の喜びを知ってもらった。</li> </ul>

### 3) 情報発信のコツを知って、記事を作成しよう

実施団体	NPO アートコラールきくがわ
日 時	7月25日(月) 9:30~11:30
場 所	プラザきくる2階多目的エリア
参加者数	7名
体験内容	<p>情報発信やインタビューのコツを学び、地域活動取材し、記事を作成。</p> 
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューの仕方、経験者からの話はとても充実していた。</li> <li>・自分で記事を作り発表するという機会があまりないので、良い経験になった。</li> </ul>
NPO の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者がそれぞれの視点で取材記事をまとめ、発表することができ、目的を達成することができた。</li> </ul>

#### 4) 外国人の子どもたちへの日本語サポート

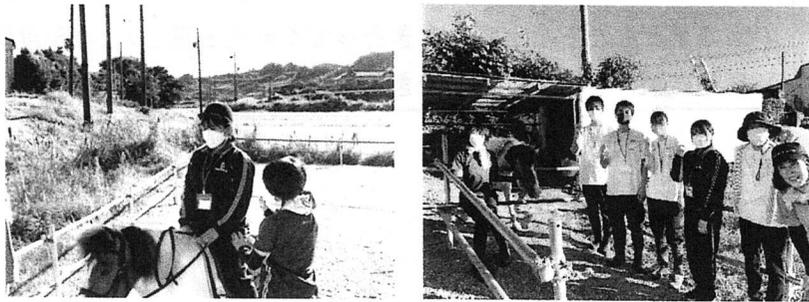
実施団体	NPO 法人静岡教育フォーラム
日時	① 7月26日(火) ②7月28日(木) ③ 8月2日(火) ④8月4日(木) ⑤8月9日(火) 各日とも 10:00~15:30
場所	虹の架け橋 菊川・小笠教室
参加者数	17名
体験内容	外国人の子どもたちに日本語や算数の指導補助を行なう。 休み時間には一緒に遊んで交流する。 
参加者の声	・自分の思いを一生懸命に伝えてくれて嬉しかった。 ・伝えることは簡単だけど、それを理解してもらうのが大変だと学んだ。
NPO の声	自分たちが使っている日本語やわかっている算数を日本語があまりわからない児童生徒に教えるということに悩みながらも、みんな目の前の子どもたちを上手に向き合ってくれたと感じた。今年度同様、積極的に関わりを持つことができる中高生が増えるとうれしい。

#### 5) 竹の伐採と伐採竹の活用 (竹灯籠制作)

実施団体	NPO 法人里山再生クラブ
日時	7月29日(金) 9:00~11:30
場所	市民協働センター
参加者数	3名
体験内容	里山の森を守る保全活動について学び、竹灯籠制作を体験。

	
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹を火であぶることで綺麗な緑色に変わっていくのが凄かった。</li> <li>・竹灯籠作りがとても楽しかった。</li> </ul>
NPO の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思ったよりもテキパキと安全に出来た。若い人に竹について知ってもらえてよかった。</li> </ul>

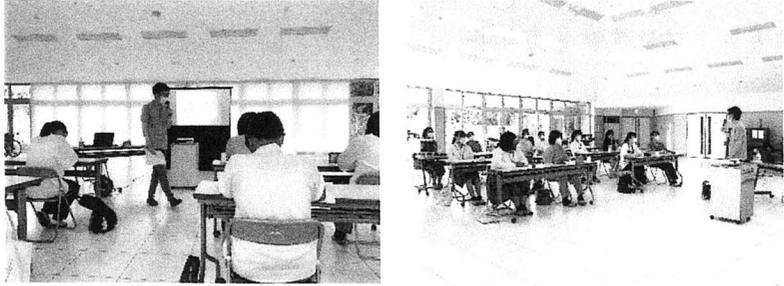
#### 6) 馬のふれあい体験会（お仕事体験）

実施団体	NPO 法人うまのあと
日 時	① 7月30日(土) ②台風のため中止 各日とも 15:30～17:30
場 所	倉沢ラブリ na 牧場
参加者数	4名
体験内容	<p>馬の手入れや餌やり、馬小屋の清掃を通して、自然と人間が共生する大切さについて学ぶ。</p> 
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・馬は人間と同じようにふれ合うことで安心感を抱くことを学んだ。</li> <li>・乗馬ができたことが印象に残っている。人と人がコミュニケーションをとれるように、人と動物もコミュニケーションをとることができる。</li> </ul>
NPO の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・馬を介することで、初めて同士の学生さんが体験中に仲良くしゃべっていることが興味深く感じた。歳の離れたスタッフさんとも色々なお話をしていたので異世代交流の場としてレクリエーションを取り入れても面白いと思った。</li> </ul>

## 7) 障がい者と防災

実施団体	NPO 法人 COCO
日時	8月1日(月) 10:00~12:00
場所	となりの COCO
参加者数	1名
体験内容	<p>障がい者と防災グッズの点検・整理をしながら、災害から身を守るために何をすればよいのか考える。</p> 
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「日常から、防災用の道具を使うことで、いざという時に落ち着いて使うことができる」と言われて、なるほどと思った。</li> <li>・同時に、日常から防災に少しでも関わったほうが良いと感じた。</li> </ul>
NPO の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細かい作業もめんどうがらず、快くやってもらい助かった。</li> </ul>

## 8) 次世代人材育成講話 ～傾聴の理解を深める～

実施団体	NPO 法人 傾聴・お話しボランティア
日時	8月5日(金) 9:15~12:00
場所	特別養護老人ホーム 松秀園
参加者数	6人
体験内容	<p>傾聴やボランティアについての基本を学び、人との関わり方について考えを深めていく。</p> 
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの自分がどれほどみんなの話を聞いていなかったか分かつ</li> </ul>

	<p>た。これからどういうふうに聞けばいいのか分かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の方々が分かりやすく、上手に話してくれたので、私も聞きやすかった。</li> </ul>
NPO の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加していただきました学生がきちんと話を聴き、自分のものにしていく努力、参考にしていた。</li> </ul>

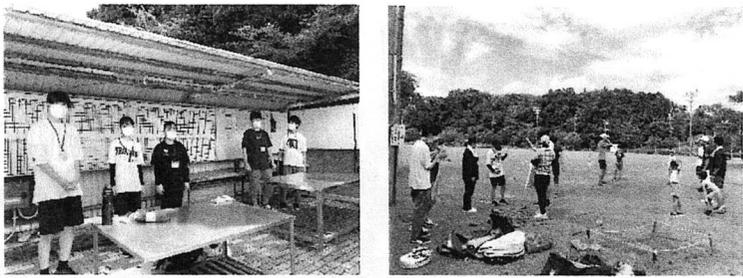
#### 9) せんがまちで畦草刈りと生き物教室の体験

実施団体	NPO 法人せんがまち棚田倶楽部
日 時	8月6日(土) 9:30~11:30
場 所	倉沢の棚田「せんがまち」(集合：上倉沢公会堂)
参加者数	5名
体験内容	<p>400年の歴史を伝える棚田「せんがまち」で、畦草刈りと貴重な生き物を知る生き物教室を体験する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草取りだけでなく、生き物教室など、沢山の事が経験できた。</li> </ul>
NPO の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者と1対1で作業に取り組み、会話を多くすることができたので、今後の作業でオーナーの方々とコミュニケーションをとることに活かしたい。</li> </ul>

#### 10) デイサービスで世代間交流

新型コロナウイルスの影響により中止。

### 11) スナッグゴルフ 親子コンペ

実施団体	NPO 法人スポーツ・フューチャー
日時	8月14日(日) 13:00~17:00
場所	尾花運動公園 グランドゴルフ場
参加者数	5名
体験内容	<p>スナッグゴルフの競技会で、受付、コース設定、コース案内などの本部運営の補助を行なう。</p> 
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴルフのルールややり方を知ることができた。</li> <li>・少しずつ上手になっていき、チームの人と楽しむことができた。</li> </ul>
NPO の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の方々は興味を持って取り組んでくれた。地域スポーツとして社会体育として活動していきたい。</li> </ul>

### 12) 保育の職場体験

実施団体	NPO 法人生活支援施設かすみ草
日時	8月18日(木) 8:30~11:30
場所	生活支援施設かすみ草
参加者数	2名
体験内容	保育士の仕事体験や学童保育・学習塾で小学生とふれあいを通して、コミュニケーションの大切さについて考えを深める。
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初は緊張していたが、子どもたちの方から来てくれて嬉しかった。</li> <li>・1度に何人も相手にするのは大変だったが楽しかった。</li> </ul>
NPO の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催時間は3時間と短かったものの、参加者は子どもたちと上手にコミュニケーションをして、楽しんでいる様子だった。</li> </ul>

13) ブラジル人の子どもの日本語教室

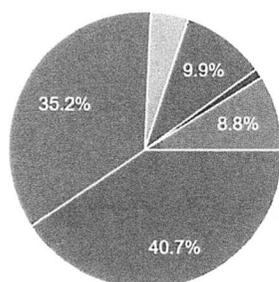
実施団体	NPO 法人ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会
日時	① 8月23日(火) ②8月24日(水) ③8月25日(木) 各日とも 13:30~16:30
場所	シ・イ・ソヒゾ・デ・クリアンサブラジル人学校
参加者数	7名
体験内容	<p>ブラジル人の子どもたちが日本語を学習する様子を見学し、授業をサポートする。</p> 
参加者の声	言葉は分からなかったけれど、表情や簡単なジェスチャーで言いたいことが伝わる喜びや楽しさを感じられた。
NPO の声	ソヒゾの子どもたちもお兄さんお姉さんが来てくれて嬉しいと話していた。

### Ⅲ. 学校・セミナー別申込み人数一覧

#### 1) 学校別申込み人数一覧

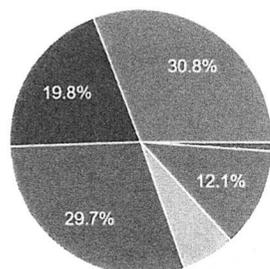
No	学校	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
1	菊川東中学校		3	1				4
2	菊川西中学校	1	7	1				9
3	岳洋中学校			1				1
4	袋井市立袋井中学校			1				1
5	牧之原中学校			1				1
6	小笠高等学校				6	9	16	31
7	常葉大学附属菊川高等学校				18	8	9	35
8	掛川西高等学校					1		1
9	掛川東高等学校						1	1
10	掛川工業高等学校				1	1	1	3
11	浜松開誠館					1		1
12	静清高等学校				1			1
小計		1	10	5	26	20	27	
総計		89						

#### ●学校別



- 常葉大学附属菊川高等学校
- 小笠高等学校
- 菊川東中学校
- 菊川西中学校
- 岳洋中学校
- その他（下に学校名を記載）

#### ●学校別



- 中学1年
- 中学2年
- 中学3年
- 高校1年
- 高校2年
- 高校3年

#### IV. 参加者(中高生)アンケート結果

##### 1. 本日のセミナーに参加しようと思ったきっかけや理由を教えてください。

###### KFC

- ・兄がサッカーを習っていたため試合を見に行っていたことがあり、興味があったから。

###### 災害救助犬静岡

- ・災害救助犬がどのようにして現場で活躍するのかを知りたかったから。
- ・初めてのボランティア活動で、自分の好きな犬と関われるならと思って参加した。
- ・学校で配られた NPO の案内の紙の中で一番参加しやすそうだったから。
- ・災害救助犬の訓練というものが気になり、また具体的に何をするのかというのが気になったから。
- ・東日本大震災や熊本地震で災害救助犬が活躍しているのをニュースで知り、興味を持ったから。
- ・学校でもらったパンフレットを見て、救助犬とふれあってみたいと思ったから。
- ・犬が好きで、災害救助犬について興味を持っていたから。
- ・家で犬は飼えないけど、犬が好きなので、犬に会いたくて参加した。
- ・ボランティアをしてみたかったのと、犬とふれあいたかったから。
- ・最初は親に勧められたからです。そして、体験によってより多くの知識をつけられると思ったから犬が大好きだから。
- ・災害救助犬になるまでにどんなことをしているのか気になったから。  
また、学校でもらったパンフレットを見て興味を持ったから。
- ・犬が好きで、災害救助犬に興味を持ったから。訓練体験をしてみたかったから。
- ・小さい頃から犬が好きで興味を持ったから。
- ・犬がもともと好きで、その中で災害救助犬はどんなことをするのか、いつもこの隣の道を通っているのので何をやっているか興味があったから。
- ・犬が大好きで興味があったからです。
- ・災害救助犬の訓練が知りたかったから。
- ・犬と関わりたいと思ったから。救助犬のことを知りたいと思ったから。
- ・将来、動物関係の仕事に就こうと思っているから。
- ・将来、動物看護師になりたいくて、他にも色々な知識を身につけたいと思ったから。
- ・災害救助犬に興味があったから。
- ・友達にさそってもらった。パンフレットをもらった。
- ・パンフレットを見て、参加しようと思った。
- ・友達に勧められたことと、菊川市内のボランティアに参加してみたいと思った。
- ・履歴書に書きたかったから。犬の訓練が気になったから。
- ・学校で配られた紙を見て興味がわいたから。

### アートコラールきくがわ

- ・まちづくりスクールから、活動するだけでなく、情報発信をして人に知ってもらうことも大切だと思ったから。
- ・副会長としてみんなに分かりやすい情報を伝えたくて、コツを学びに参加した。
- ・NPOのやつが配られた時に情報発信という言葉が目に入り、将来役に立てられるかと思い参加した。
- ・将来なりたい職業に必要だと思ったから。
- ・高校生まちづくりスクールで、情報発信について興味を持ったから。
- ・まちづくりスクールで紹介された。
- ・中高生まちづくりスクールの一環。

### 静岡県教育フォーラム

- ・言語が違ういろんな人と関わってみたかったから。友達が虹の架け橋に行っていたから。
- ・外国の子どもたちと交流して、外国の人のサポートの仕方を身につけたかったから。
- ・NPO法人の冊子が学校で配布され、子どもが好きなものといろんなことに触れたいという思いで興味を持ち応募した。
- ・外国の子どもたちとのたくさんコミュニケーションをとったり、関わったりなど様々なことに触れる良い機会だと思ったから。
- ・親にNPO体験を進められて、誰かに教えることは大切だから、日本語サポートに参加しました。誰かの役にたつたから。それに小さい子が好きだから。
- ・虹の架け橋に勉強したことある だから日本語わからない外国人に手伝いをしたかった。
- ・子どもが好きで、自分も虹の架け橋で勉強したことがあるので、手伝いたい気持ちがとても大きい。
- ・子どもが好きと日本語の先生の仕事がどういう感じか理解したかった。  
将来は子どもと一緒に働きたいと思いますので参加したかった。
- ・大学進学に向けてやりたかった。
- ・外国の子どもたちと関わることはめったにないので、一度体験してみたかった。
- ・自分はずっとここで勉強していたため。先生たちと話しやすかったから、このプログラムに参加した。
- ・普段外国人の方と接することが少ないので、このような機会をいただきぜひ参加したいと思った。
- ・違う言語の人といっしょに活動してみたかったから。
- ・友達が誘ってくれたから。
- ・将来先生になりたいと思っていた。外国語をいかしながら先生たちの手伝いが出ると書いてあったから。
- ・外国の方と触れ合う機会がほしいと思っていたから。
- ・コミュニケーション能力をつけたかったから。
- ・今回のセミナーで学んだことを生かして、これからどのように外国の子どもたちへ接すれば

いいのかを知るため、生かすためにこうして参加しようと思った。

#### 里山再生クラブ

- ・学校で配られたパンフレットを見て、面白そうだと感じたから。
- ・パンフレットが配られ面白そうと思ったから。
- ・親から NPO 体験を進められて、その中から興味を持った竹灯籠政策に参加した。
- ・普段できない体験ができると思ったから。

#### うまのあと

- ・動物が元々好きで馬にふれあえると聞いておもしろそうだったため。
- ・親戚がやっている活動で NPO 体験セミナーのパンフレットを見た時にとっても気になったので参加しようと思った。
- ・馬とのふれ合いの機会はなかなかなく、いい機会だと思ったから。
- ・貴重な馬の体験をしてみたいと思ったから。身近にふれあえない馬とふれあってみたいと思ったから。

#### COCO

- ・近くに住む祖父母がいるので、防災の時に何か役にできることはないかと思い参加した。(70 歳を超えてできないことが増えてきたので)

#### 傾聴・お話しボランティア

- ・これからの人生経験で豊かにするため。介護の道に進みたいと考えているためたくさんの知識を身につけたかったから。

#### せんがまち棚田倶楽部

- ・楽しそうだったから。棚田に行ってみたかったから。
- ・楽しそうだったから。
- ・棚田を見たことがなくて、見てみたかったから。
- ・学校に届いたチラシを見て思った。
- ・学校のチラシを見て思った。

#### スポーツ・フューチャー

- ・ゴルフのルールを詳しく知らなかったので、ボランティアに参加し、少しでもゴルフについて知りたいと思ったから。
- ・小学生の時同じような活動をして楽しかったから。外で体を動かして遊ぶのが楽しそうだから。
- ・運動出来て楽しそうだったから。ゴルフに少し興味があったから。
- ・学校で配られた紙を見たから。そして興味を持った。

- ・夏休みに体を動かせるものがないかと思っているときに見つけたのがきっかけ。

#### 生活支援かすみ草

- ・子どもたちと関わるボランティアをやりたいから。
- ・将来保育関係の仕事に就きたいと考えていて、まだ実際に保育現場での経験をさせて頂いたことが無かったから今回参加させていただいた。

#### ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会

- ・教育系のボランティアに興味があったから。
- ・私自身が教員を目標にしているため、子どもたちと関わるボランティア活動に参加したいと考えていた。
- ・多文化交流に興味があったため。
- ・NPO 体験セミナーの要領が学校で配られたから。
- ・外国人との交流を深めたいと思ったから。
- ・日本語を教えたかった。
- ・中々ない体験で、自分が今まで過ごしてきていないような環境で生活している人たちと関わってみたいと思った。
- ・日本語を勉強している子どもたちの手伝いをしたかったから。  
外国の子と仲良くなりたかった。
- ・人に何かを教えることや子供が好きで、違う国の子どもたちとも楽しく過ごしたいと思ったから。
- ・外国人の子どもたちと一緒に遊びたかった。

## 2. 本日のセミナーの感想はいかがでしたか。

～とても満足の理由～

### KFC

- ・最初は緊張していたけど、とても優しく接していただき、楽しくできたから。

### 災害救助犬の訓練体験

- ・災害救助犬を育成するのは、労力と時間がかかることを知れて将来に生かせると思ったから。
- ・すぐに居場所を探してくれたし、職員さんたちも優しくしてくれた。
- ・わんちゃんとふれあえたり、すごいところをたくさん見せてもらったから。
- ・実際に犬に探し出される役をやったり、災害救助犬についてわかりやすい説明を受けたりすることができたから。
- ・たくさんの犬とふれあえた。新しく学んだことがたくさんあった。初めてのボランティア活動だったけれど、楽しく参加ができた。
- ・めったにできない貴重な体験をさせていただけて、今後も機会があれば参加したいと思ったから。
- ・警察犬との違いやどのようなしつけがされているのか詳しく知ることができたから。
  
- ・救助犬のことをたくさん知ることができ、体験もでき、良い経験になったから。
- ・災害救助犬について色々なことを学べたから。
- ・たくさんの犬に会えて、救助犬のことが知れていい体験ができました。
- ・どうやって救助するのかやどういう風に訓練しているのかを学べることができたから。
- ・人というにおいを覚えているなんてびっくり。自分の愛犬も訓練によって救助犬になれると知ったからです。
- ・家で飼っている犬で救助犬になることを知れた。
- ・おもしろかったですし、すぐに見つけてすごかったから。
- ・どのような取り組みをしているのか知ることができたからです。実際に体験をすることが出来たから。
- ・実際に訓練に参加させてもらえたこと。
- ・普段経験できないことを経験できたから、たくさんのことを学ぶことができたから。
- ・災害救助犬の訓練の様子やこのセミナーの中でいろんなことを知ることができて来て良かったと思えた。
- ・どんなことをするのかや救助犬のすごさが分かったから。
- ・災害救助犬についてたくさん知れたからです。
- ・実際に訓練の様子をみて感動したから。救助犬の歴史など知れたから。
- ・自分がかくれているときに見つけだしてくれたから。わんちゃんたちがかわいかったから。知らなかったこと、初めてしたことが多く良い学習になったから。
- ・救助犬の仕事を近くで見れたから。

- ・災害救助犬について詳しく知ることができたから。
- ・ワンちゃんたちがえらすぎた。

### アートコラールきくがわ

- ・インタビューやまちづくりの大切さを知ることができて良かったから。
- ・インタビューの仕方、経験者からの話はとても充実していた。
- ・自分で記事を作り発表するという機会があまりないので、良い経験になった。
- ・コツをしっかりとつかんだ。役立つと思う。

### 静岡県教育フォーラム

- ・みんな笑顔ではなしかけてくれて、たくさんの子どもと話せたから。
- ・外国の子どもたちの関わり方を知り、これからもいかせそうだから。
- ・みんなの話を聴き、自分なりのアドバイスを与えることができた。
- ・たくさんの子どもたちと関わることができたから。先生方の姿を拝見することができたから。
- ・たくさんの話しかけてくれたり、教えるところはしっかり聞いてくれるのでとても嬉しかった。
- ・誰かに分かりやすく説明することが大切だったから、どうすればいいのかすごく考え、工夫することができたから。外人とも普段あまり関りがないのでとてもよい一日になった。
- ・子どもたちと一日を過ごして、とても楽しかった。そして色々な子どもたちと話をすることで、色々なことを知るようになった。
- ・子どもと一緒に働くことがとてもいい。子どもたちの分からないことを教える手伝いをする楽しかった。
- ・楽しく生徒と学習できたから。
- ・先生になった気分になれてとても楽しかったし、休み時間たくさん遊ぶことができた。
- ・普段体験できないことをNPOを通して体験ができるようになった。
- ・みんなとても元気で私も元気になった。
- ・お勉強も休み時間もとても楽しかった。
- ・勉強を教えてあげたるするのが楽しかった。
- ・色々な子たちと遊んだり、話したり、教えたりすることができたらから。
- ・先生の大変さについてよく理解できたし、言語が通じないと身振り手振りを使ったり、他の言葉に言い換えたりなど体験することができたから。
- ・子どもたちと楽しく活動ができたから。
- ・一生懸命日本語の勉強をしている姿を見て感動したから。
- ・子どもたちと話したり、遊んだりすることがとても楽しかったです。その中で言語が通じなかったりすることもあったが、それをどう対処していくか、話していくか考えることもあったので、とても自分の中では勉強になった。

### 里山再生クラブ

- ・途中からの参加でしたが、良い経験になった。とても楽しかった。
- 次（来年）などにきちんと最初からいけるところでもう一度申し込もうと思う。
- ・今まで身近になんとかあった竹や竹林について深く知ることができ、竹灯籠を実際につくってみて竹がどんな作りになっているのかをじっくり観察することができたから。

### うまのあと

- ・いつもはふれ合えない馬を見て、簡単な世話をして乗ることもできてとても充実した2時間半でした。出来たらもっと練習して上手に乗馬できるようになりたい。
- ・初めて馬と直接ふれ合っただけでも楽しかったし、めったに体験ができないことをたくさんできて良い経験をさせてもらいました。
- ・馬のえさやりや乗馬を体験でき、自分のしたいことができたから。また、役員の方々も優しく楽しかった。

### COCO

- ・発電機自体は持っていないのですが、発電機の使い方を知ることができたので、災害が起こった時にその知識を役立てればよいかなと思った。
- ・このセミナーで分からないことを教えてくれた人たちが、とても優しく明るい人たちで、緊張しないで取り組むことができたと思う。

### 傾聴・お話しボランティア

- ・今日学んだことを今日から実践したいと思うほど全ての話が為になったと感じる為。

### せんがまち棚田倶楽部

- ・すごい楽しめたし色々な生き物もいて初めてのことを知れた。
- ・いろいろな自然を学ぶことができたし楽しかった。
- ・草取りだけでなく生き物教室などたくさんのが経験できた。
- ・田んぼに入って草取りしたり、実際に生き物を見れて楽しかった。

### スポーツ・フューチャー

- ・少しずつ上手になっていき、チームの人と楽しむことができた。
- ・一緒に楽しくゴルフができたから。ゴルフのルールややり方を知ることができたから。
- ・運営している人や参加者みんな優しく楽しくできたから。
- ・自分が体験出来て楽しく思えたから。
- ・色々な人と交流できたこと。

### かすみ草

- ・保育関係の仕事で必要になる読み聞かせや子どもたちと一緒に歌を歌うことが経験できたから。一緒に遊んでいるとみんなが笑ってくれたので嬉しかった。
- ・最初は緊張していたが子どもたちの方から来てくれて嬉しかった。1度に何人も相手にするのは大変だったが楽しかった。

### ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会

- ・みんな積極的に話しかけてくれたから。
- ・みんな優しく明るく積極的に話しかけてくださって言語は通じにくくても一緒に楽しく遊ぶことができたから。みんなおやつを分けてくださって、本当に楽しかった。
- ・子どもたちと楽しく過ごせた。
- ・言葉は分からなかったけれど、表情や簡単なジェスチャーで言いたいことが伝わる喜びや楽しさを感じられたから。
- ・ブラジル人はおもしろいから。経験がとてもいいだった。
- ・教えるのは難しかったけどとても楽しかった。
- ・日本の学校とはかけ離れた姿を見ることができた。面白い経験だったし、可愛らしい子どもと触れ合えたから。外国人学校の現状知ることができた。
- ・子どもたちがとても素直でかわいらしく、私たちのことを優しく迎え入れてくれて嬉しかったです。施設の方々も丁寧に教えてくださり、とても活動しやすかった。
- ・ブラジルの子たちとたくさんのコミュニケーションを取る事が出来、楽しかったから。先生方も丁寧に説明してくださり、わかりやすかった。

### ～やや満足の理由～

### アートコラールきくがわ

- ・NPOとして活動する人の話を聞くことができたから。
- ・実際にインタビューの体験ができ、インタビューのコツなども教えていただけたから。
- ・皆さんの話はとても興味深かったですが、自分の内向的な部分がでてしまい、積極的なことができなかった。

### 里山再生クラブ

- ・竹灯籠作りとても楽しかった。ノコギリの使い方を学べた。
- ・話が少し長く感じた。(まとめてほしかった…)

### せんがまち棚田倶楽部

- ・かきごおりが美味しかったから。草刈りも単純作業で楽しかった。

3. 特に印象に残ったことや、気づきや学び、今後に活かせるようなことをご記入ください。

#### KFC

- ・たくさんの人と話すことができたこと。笑顔で話をしたり聞いたりすること。

#### 災害救助犬静岡

- ・アマチュアの団体があるということ。
- ・保護犬も災害救助犬として活躍できるということ。
- ・人間では探せないところまで犬は探してくれてにおいもすぐ分かってくれて嬉しかった。
- ・ボックスをしめているのに匂いだけで見つけてもらえたこと。
- ・犬との関わり、災害時の対応。
- ・警察犬と災害救助犬の人の探し方の違いや、犬によって見つけた時の違いがあるなど、今まで知らなかったことを沢山学べた。
- ・災害地を想定したところから犬がどういうメカニズムで人を探すのか初めて知れた。
- ・普段は普通に飼われている犬が訓練して人の役に立っていたことに驚いた。
- ・救助犬はにおいだけですぐ探すことができ、体験することでより印象に残った。
- ・災害救助犬は愛犬だということ。
- ・警察犬とは違い特定の匂いではなく人の匂いで見つけるということ。
- ・飼っている犬でも救助犬になれること。警察犬とは違うこと。
- ・匂いだけですぐに見つけられるのはすごいと思った。
- ・目に見えないのに、すぐに見つけて印象に残った。
- ・少しの匂いで人の居場所がわかること。
- ・人が見えなくても探し当てることが印象に残った。
- ・箱に入って見つけてもらったことが印象に残った。
- ・犬が実際に箱や建物の中から人を見つけるのがすごいと思った。見つけてくれて良かった。
- ・見つけてくれた時、とても嬉しかった。救助を求めているひとも見つけてもらったら嬉しいと思った。
- ・リードをつけていなくても、言われたことをきけて救助犬ってスゴイと思った。
- ・犬とのアイコンタクトなど服従関係。  
自分も犬を飼っているから、学びを今後生かしていきたい。
- ・私も犬を飼っているのでしつけ方を参考にしたいと思った。
- ・救助犬は誰でもなれる（不向きとは除く）と知りすごいと思った。私も犬（トイプードル）を飼っているから、今日学んだことを意識して接したいと思った。
- ・災害救助犬は人間にはない鼻（人間の10倍）を主に使って人間を探し助けることができるからすごいと思った。
- ・どのように人を探しているのか、そのためにどんな訓練をしているのかが分かった。
- ・地道な作業によって覚えていくのだなと思った。

- ・犬が人をよーく探してて見つけたことがすごいなと思った。私も見つけられて実感しました。

#### アートコラールきくがわ

- ・文章の書き方はとても参考になった。
- ・要点を読み手に簡潔に伝える文章を書くことが大切と分かった。
- ・工藤さんが目指している菊川につくる店舗のことが印象に残った。
- ・短い書き出しで人々の興味をひく。
- ・実際にプロジェクトをやっている人にインタビューすることができたことがとてもよかった。
- ・インタビューいろんな県で活動していること。
- ・地域のことをよく知り、周りの人たちに伝えるということはとてもすてきなことだなと思った。

#### 静岡県教育フォーラム

- ・みんな自分の思いを一生懸命に伝えてくれてうれしかった。まちがえてもぜんぜん OK なんだと思った。
- ・小中高へ行く子どもたちに自分の経験などと語り、少しでもヘルプになったこと。
- ・自分よりも年齢の若い子たちが一生懸命、他の言語である日本語を学ぶ姿を見てすごいなと同時に心を動かされるものがあった。
- ・私は今のところ日本語しか話せませんが、今日、フィリピン語や英語を話す子どもたちと関わって、私も英語などを学んでもっと色々な人たちとコミュニケーションをとれるように頑張りたいと思った。
- ・誰かに分かりやすく伝えることは、とても難しかったです。伝えることは簡単だけど、それを理解してもらうのが大変だと学んだ。分かる言葉と分からない言葉があればなおさらそうだと気づいた。
- ・日本語の勉強は難しいけど、子どもたちはサポートがあるときに覚えやすい。サポートがないときにより難しいってなる。
- ・子どもとの関りが多い活動だったので、がまんとか自分の気持ちのコントロールにとっても良いボランティア活動だった。
- ・先生と教える人が子どもに同じことを何回でも分かるようになるまでということが必要。
- ・自分が知っている日本語よりもっと優しい日本語を使うこと。
- ・初めて小学生、中学生に勉強を教えたのでとても楽しかったしいい経験ができた。
- ・人を教えることがとても難しいことであり、先生の大変さを知ることができた。また、新しいことをやってみたいと思う。
- ・人と接するときの目線や言葉遣いなど、今後も生かせると思った。
- ・外国人にあったらゆっくりと話してあげたい。
- ・外国の方が分かりやすいように日本語を話すこと。
- ・特に印象に残ったことは、言葉が通じなくても問題を正解に導いていく事が一番印象に

残った。

- ・何か1つのことを一生懸命に努力してみたいと思った。発表会とても楽しめた。
- ・子どもたちが頑張って日本語で話そうとしているところがとても印象に残った。
- ・そして先生の言うことをよく聞き、すばやく行動している姿もとても印象に残った。

## 里山再生クラブ

### うまのあと

- ・言葉は通じないけれど行動で通じることにはびっくりした。
- ・すごく優しいし、かわいいなーと感じた。
- ・私は馬のエドくんとモヒちゃんのえさの作り方を教えていただいたことが印象に残った。えさをつくって思ったことは、大きさに合わせて量が違ったりしたのでとても大変だった。また機会があったら体験してみたい。
- ・馬は人間と同じようにふれ合うことで安心感を抱くことを学んだ。馬は繊細。
- ・乗馬ができたことが印象に残っている。人と人がコミュニケーションをとれるように、人と動物もコミュニケーションをとることができる。

## COCO

- ・発電機はボンベ2個で2時間と短いですが、その2時間でも災害の時に役に立つのだと、知った。
- ・黒田さん(?)が「日常から、防災用の道具を使うことで、いざという時に落ち着いて使うことができる」と言われて、なるほどと思った。
- ・同時に、日常から防災に少しでも関わったほうが良いと感じた。

## 傾聴・お話しボランティア

- ・話すよりも聴く、相手の話を遮らない、心に余裕をもつ、笑顔でいる、相槌をうつ、聴いてるふりをしない、相手の話に興味を持って聴くを意識する。
- ・「聴く」ことを通して人との関わりがさらに良くなると思った。
- ・傾聴力チェックしたのでレ点がついていなかったところを今後に生かしたい。また、ボランティアの心得をきき、またボランティアしたいと思った。
- ・誰かに相談したり、相談されたりすることで気持ちが楽になったり心に余裕ができると思った。学校生活で困ったら周りの人に積極的に相談したい。
- ・相手への気持ちを考えることはいつでも必要なことだと感じた。
- ・私も相手も気持ち良い、安心できる環境をこれからもつくっていききたい。
- ・話を聴くときは、相槌、共感など相手に「聴いている」というのが伝わるようにする。目を合わせづらく、そらしてしまうときがあるけど、できるだけしっかりみてきくようにしたい。

### せんがまち棚田倶楽部

- ・虫のこととか（農具）、カマとかの使い方とか。印象に残ったことは棚田の景色とカエルで、すごいと思った。
- ・クモが泳いでいた。色々な虫がいた。
- ・棚田でちよくちよくあるへこみはみにくくて、1人で見に来るとか絶対危ないなと思った。
- ・たくさんの生き物がいる。
- ・様々な生き物を見て学ぶことができた。

### スポーツ・フューチャー

- ・6位だったこと！
- ・ゴルフの順位が上位だったこと。
- ・仕事といっても室内で働くだけでなく、外でも活動できるものがあるということ。進路の新しい世界が少し広がった。
- ・将来大人になった時にまたゴルフをやってみようと思った。
- ・ゴルフをまたやってみたいと思えた。ゴルフは心を落ち着かせてやらないとうまくできない。

### 生活支援かすみ草

- ・まだ三歳になったばかりの幼い子もいるのにみんながしっかり先生の言うことを聞いていたのがすごいなと思った。また部屋の中にあったミラーや沢山のおもちゃ、みんなのおむつなども印象に残っている。

### ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会

- ・言葉が通じなくてもジェスチャーなどでコミュニケーションをとれるということが分かった。
- ・子どもたちか私たちに対して一生懸命日本語で伝えようとして来てくれる様子が印象的だった。私自身教員になった時、子どもたちが伝えようとしたものを理解したいという思いが強くなった。少しずつですが子どもたちが使っている言語を理解できるように、勉強していきたいと感じた。
- ・日本人よりも積極的な子が多い。建物を新しくするために寄付とかできないか考えたい。
- ・相手の言語が分からなくても、コミュニケーションが取れたことが特に印象に残った。
- ・ブラジル人が挨拶に頑張ってとても嬉しかった。
- ・言葉は通じなくても「伝えよう」という思いがあれば何とかなるし、楽しいゲームもできるということ。  
人と関わることの楽しさを改めて感じた。
- ・みんな一生懸命に想いを伝えてくれて嬉しかった。
- ・言葉は通じにくくてもジェスチャーやうなずき、ポーズなどである程度会話をすることができたこと。

4. 今後体験してみたい NPO 活動やボランティア活動があれば教えてください。

#### KFC

- ・ヘッドネーション、清掃活動

#### 災害救助犬静岡

- ・来年もこのボランティアに参加したい。
- ・また来年もこのボランティアに参加したい。
- ・またこのボランティア活動をやりたい。
- ・次もこういう災害関連のものがあったら参加したい。来年もこれに参加したい。
- ・災害地での救助活動。
- ・災害救助犬の指導者体験！
- ・犬関係、教育関係
- ・救助犬、保育
- ・水辺の生き物

#### アートコラールきくがわ

- ・インテリアデザインの体験ができるボランティア活動。
- ・アグレッシブの動くことを中心としたい。

#### 静岡県教育フォーラム

- ・動物や子どもたちに関わる活動
- ・災害犬の活動
- ・色々な NPO 活動に参加したい。来年もあればぜひ参加したい。
- ・特にない。
- ・同じ活動（静岡教育フォーラム）
- ・外国の子どもたちとの交流
- ・日本の子どもにもサポートするようなボランティアがあったら参加してみたい。
- ・地域の外国人の方の交流パーティーの通訳として参加するようなボランティア
- ・まだわからないけれど、今後もボランティア活動に参加したい。
- ・動物に触れあえるようなボランティアをしてみたい。

#### 里山再生クラブ

- ・お茶を利用したお菓子作り、料理体験など
- ・棚田での生き物観察

#### せんがまち棚田倶楽部

- ・山の探検

### スポーツ・フューチャー

- ・ゴルフ以外にも球技のスポーツのボランティアをやってみたいと思った。

### 生活支援かすみ草

- ・今後も、保育に関するボランティアがあったら進んで参加したい。
- ・小学生に勉強を教えたりするボランティアをやってみたい。

### ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会

- ・自然。環境に関わるもの
- ・今後も海外に住む人などの新しく関りを持てるような活動をしたい。
- ・今と同じみたいに外国人に日本語を教えたい。
- ・今回と同じように外国人と活動できるボランティア
- ・特にない。
- ・今回と同じような子どもたちとかかわりを持つボランティア活動に参加したい。今日の活動は私にとってとても大切なものとなった。

## V. 実施団体アンケート結果

### 1. 中高生 NPO 体験セミナーを実施しようとした理由や目的を教えてください。

#### KFC

体験セミナーを通して中高生に KFC の活動を理解いただき、地域へのアピール等が出来たらと考えている。今後も、コミュニケーションを取って行きたいと思う。

#### 災害救助犬静岡

災害が起こった時に、行方不明者を探す犬を、ニュース等で見たことはあっても、実際に見たことのない方が多い中で、菊川市内で訓練している団体がいることを広く広報し、救助犬についての正しい知識と実際に体験してもらうことで、災害救助犬の必要性を認識していただく。さらには、将来自分（学生自身）も、犬を飼ったときに自分で愛犬を訓練し、災害地へ出動してくれる人材発掘への啓蒙へつながることを期待。

#### 静岡県教育フォーラム

地域の中高生に外国人児童生徒の環境を知ってほしい、外国人児童生徒と共生社会を築いてほしいという願いがあるため。

#### 里山再生クラブ

若い人に竹について知ってほしかった。

#### うまのあと

社会貢献活動に積極的な若者が増えていることから、当法人もできる限りお手伝いをしたいという思いがあり、動物（馬）が人間関係に良い影響を与えてくれることを知ってもらうため参加した。

#### COCO

出会いを楽しみに申し込んだ。ふれ合うことで、何かの気づきになればと考えた。

#### 傾聴・お話しボランティア

これからの社会で活躍する学生達に自分らしく、又、相手を尊重（存在肯定）しながら、自己形成をしていって欲しいからです。人と人が仲良く楽しく暮らすためのルールを身につけて欲しいから。

#### せんがまち柵田倶楽部

中高生の方々にせんがまちの柵田の存在、雰囲気を知ってもらい、柵田への関心や保全への興味を持ってもらいたいため。

### スポーツ・フューチャー

普及を目指している地域に根差したスポーツを知っていただき、将来的にこの分野にも興味を持っていただくため。

### 生活支援かすみ草

中高生の皆さんに、保育の仕事の大切さを知ってほしいことと、将来の職業選択の一助になればと思います実施した。

### ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会

例年受け入れている。ブラジル人は日本人と交流することが少ないので、日本人の子どもたちと交流して欲しいと思った。

2. 中高生 NPO 体験セミナー実施の目的は達成できたと思いますか。また、その理由を教えてください。

～達成できた理由～

### 災害救助犬静岡

学生さんたちのアンケートを確認させていただいたとき、全ての回答が満足できたという回答をいただいた。暑い時期で、人も犬も大変な中でも、その中で出来ることを頑張れた。

最初の座学で救助犬の知識を学び、訓練展示を見てもらいながら、その動きの意味や、そこまでの修練の過程は一つの事を覚えるまでにはかなりの時間をかけて教えていくと説明させていただいた。

隠れ役を経験してもらい、実際被災した人の感情や、犬に発見してもらった時の喜びを知ってもらった。学生さんたちの一番の楽しみであるふれあいは、やはり大好評。

体験後の最後にいつも伝える言葉として、普段はいつものメンバーの知っている臭いの訓練ですが、災害地には誰一人として知っている臭いはありません。今回学生さんに隠れてもらう事ができて、救助犬たちも初めての臭いを嗅いで検索する訓練ができた。

### 静岡県教育フォーラム

どの中高生も積極的に関わりを持つことができたから。また当教室を修了した生徒4名が今回のセミナーに参加し、自分たちの体験を同世代の児童生徒に話をしてくれた。

### スポーツ・フューチャー

コンペを通じてスナックゴルフのルール、コース設定、片づけまで体験していただいた。

### 生活支援かすみ草

開催時間は、3時間と短かったものの、参加者は子どもたちと上手にコミュニケーションをして、楽しんでいただいていた様子だった。私が参加者の皆さんに「自分が楽しめれば、周りの子どもたちも楽しいんだよとお話ししましたが、その通りに実施してくれました。よかった。

### ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会

日本人の子どもたちのアンケートを読ませて頂いて皆満足したと回答してくれた。ソヒゾの子どもたちもお兄さんお姉さんが来てくれて嬉しいと話していた。

～ほぼ達成できた理由～

### KFC

参加いただいた高校生が終日、保護者とのコミュニケーションを取っていただき、本部運営がスムーズに行えた。

### アートコラールきくがわ

参加者がそれぞれの視点で取材記事をまとめ、発表することができ、目的を達成することができた。

### せんがまち棚田倶楽部

草取りの作業では集中して取り組んでいただけたから。棚田に住む生き物(例としてバッタ)を見つけては、興味を持っていただけた。

3. 参加者の反応など気付いた点や、今後を活かしたい点がございましたらご記入ください。

### KFC

積極的な参加をお願いしたい。

### 災害救助犬静岡

体験セミナーを体験する前の、NPOの学習を菊川市市民協働センターの皆さんに事前学習を行っていただいているおかげか、セミナー参加者のマナーが大変向上していて、ありがたいです。反応については、目的達成の中で記述させていただいたことと同じです。次世代へつなげる活動として、このような若い人材が、愛犬を訓練し、我々と一緒に災害地へ出動してくれるボランティア活動をして頂けるようにつなげたい。

### アートコラールきくがわ

参加者のレベル感で、今回はかなり高い子が多かったので、内容を検討しても良いと思った。  
時間配分等検討する必要があると思った。

### 静岡県教育フォーラム

自分たちが使っている日本語やわかっている算数を日本語があまりわからない児童生徒に教えるということに悩みながらも、みんな目の前の子どもたちを上手に向き合ってくれたと感じた。今年度同様、積極的に関わりを持つことができる中高生が増えるとうれしい。

### 里山再生クラブ

会話を増やす工夫が必要であった。

### うまのあと

馬を介することで、初めて同士の学生さんが体験中に仲良くしゃべっていることが興味深く感じた。歳の離れたスタッフさんとも色々なお話をしていたので異世代交流の場としてレクリエーションを取り入れても面白いと思った。

### COCO

細かい作業もめんどうがらず、快くやってもらい助かった。

### 傾聴・お話しボランティア

マイクを使用する人としらない人がいました。「声の大きさ」を考えていく点。  
2人程いねむりをする学生がいた。検討する点。

### せんがまち棚田倶楽部

草取りや生き物の観察に一生懸命取り組んでいた。参加者と1対1で作業に取り組み、会話を多くすることができたので、今後の作業でオーナーの方々とコミュニケーションをとることに活かしたい。

### スポーツ・フューチャー

参加者の方々は興味を持って取り組んでくれた。地域スポーツとして普及していき、社会体育として活動していきたい。

### 生活支援かすみ草

今回参加した2人は将来就きたい職業が定まっておらず、積極的だった。今後も最初に将来の夢などを聞いてからその人にそった体験が出来るように工夫したいと思う。

#### ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会

夏休みにブラジル人学校がやっているなのでその時に受け入れていきたい。

4. 今後の中高生 NPO 体験セミナーに向けて、実施方法などについてのご意見をお聞かせください。

#### KFC

特になし。

#### 災害救助犬静岡

夏休み期間の大変暑い時期なので、人も犬も過酷な条件であるとは思いますが、長期休暇、その中で出来る体験としては、この時期でないと計画が立てられないのも理解できる。今後も、協力させていただきますので、ご連絡下さい。

#### アートコラールきくがわ

継続して実施できたら良い。

#### 静岡県教育フォーラム

日程を間違えていた子、当日連絡なしで不参加の子等がいた。コロナ等で連絡ができないこともあるかもしれませんが、こちらは準備して待っているので当日キャンセルの連絡は確実にいただけると幸いです。今年度、当 NPO での参加希望が多数であったことは非常にうれしい。また人員調整をしていただきありがとうございました。

#### 里山再生クラブ

10 人くらいでもいい。

#### うまのあと

1 回台風で中止になってしまったのが残念でした。今回のように荒天や体調を崩して参加できなかった方のアフターフォローを今後もう少ししっかりやりたいと思う。

#### COCO

テーマは「災害と障がい者」だが、取り残されない防災と一緒に学んでいけたら嬉しい。

#### 傾聴・お話しボランティア

体験、実践してやることを取り入れる。事前、事後、学生に学ぶ機会を持つこと、続けていただきたいことです。多数の参加者が私たちの講話を聴いて下さることに感謝している。

#### せんがまち棚田倶楽部

草取りだけでなく、稲刈りや田植えのような直接イネに関わる作業の方がより楽しめると思う。

#### スポーツ・フューチャー

夏休み以外にも広げていただきたい。

#### 生活支援かすみ草

開催前に参加者の将来に向けての夢や希望などの情報を事前に知りたい。

#### ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会

夏休みにブラジル人学校がやっているなのでその時に受け入れていきたい。

### VI. 所感

コロナ禍において、人数・時間制限などの対策をしながら市内 13 の NPO 法人の協力を得て開催した。中高生に社会貢献を身近に感じてもらうことを目的に開催したが、菊川市の中高生の社会貢献への関心の高さや地域に対する思いは、県内外の NPO からも驚きの声が聞かされるほどだった。今年は市外在住の中高生の申し込みも多かった。今後も、日ごろから高校との連携や人材育成講座の開催、多目的エリアを利用する学生との交流を通じて、若者参加の地域づくりを推進していきたい。